

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



そろそろ紅葉の便りも聞かれ、
秋たけなわの頃となりました。
仰ぐ空も高く、この気持ちの良い
晴天が長く続くと嬉しいで
すね。

学校や保育園では運動会が開催され、軽快な音楽や元気な声が
聞こえてきます。汗を流しながらの一生懸命な姿に成長を感じ、
声援にも思わず力が入ってしまいます。

何をするにも良いこの貴重な時期、
お元気で、楽しい時間をお過ごしください！



失敗しない家づくりのポイント（5）

前回に引き続き、失敗しない家づくりのポイントについて
お話しさせていただきます。

大切なお住まいづくりの参考になれば幸いです。

・5年後、子供が私立高校進学で家計が火の車
高校までは子供を公立に通わせるつもりだったの
が、受験に失敗し私立高校へ進学することに・・・。
そんな事態を想定せずに、余裕のない返済額を設定
してしまったら、家計は火の車になる可能性も。
更に大学に進学したらもっと教育費がかさみます。
大学は地元ではなく親元を離れて下宿生活をして
通うかもしれません。このように子供の先々の教育
費用を視野に入れて家づくりをしなければなりません。

子供の数が多ければなおさらです。



又、定年までにローンはどうなっているでしょう。
定年以降にローンを返済する目途は？

今の雇用システムでは、60歳以上になると収入が
減少することが予想されます。

年金も十分支払ってもらえるかどうか、誰も想像で
きません。65歳になった時、支払った分のお金は
年金として返ってくるのでしょうか？

住宅会社やお金を貸す金融機関の担当者は、こうい
った先のことには決して触れたがりません。

又、アドバイスもないと考えた方がよいでしょう。
借り入れる人が70歳時にローンを支払い続ける計
算になったとしても、金融機関はお金を貸してくれ
ます。借りる側も何とかかなるという考えでローンを
組むことが少なくありません。

貸す側も、ローンを組むように勧めます。

かつて、右肩上がりに給料が増え続けた時代があり
ました。しかし今の時代、給料が減ったりボーナス
支給がなくなったりすることは珍しくありません。
会社が閉鎖されたり、リストラにあったりしてしま
う、という事態もありえます。

先の見えない今の時代では、家づくり
には、より慎重でなければなりません。



家づくりに無理は禁物です。家族との生活を大切に
するためにも将来かかる費用、起こりうる不測の事
態を考え、5年先、10年先をしっかりと見据えた計画
を立てましょう。

次号に続く

「寒露（かんろ）」

秋分から数えて15日目頃。今年は10月8日でした。
寒露とは、晩夏から初秋にかけて野草に宿る冷たい露
のこと。

秋の長雨が終り、本格的な秋の始まりになります。
この頃になると五穀の収穫もたけなわで、農家では繁
忙を極めます。

露が冷たい空気と接し霜に変わる直前で、紅葉が濃く
なり、燕などの夏鳥と雁などの冬鳥が交替される時期
でもあります。

又この頃は、大気の状態が安定し空気が澄んだ秋晴れ
の日が多くなります。夜には月も美しく輝いて見えま
すので、寒露の頃になったら空を見上げてみては如何



でしょうか？

これまでとは違った秋の清々しさと趣を
感じる空にきっと出会えるはずです。

母さん、ごめんなさい



数年前に開かれたクラス会で懐かしい旧友に再会し、そこで友人が聞いたという、ある男子生徒のちょっと切ない思い出話です。

未だに定職先が決まっていなかった俺。
ある日、正社員の面接を受けに行ったのね。
もうこれで11社目。
今まで全部ダメだった・・・。

その日は、母も用事があったし、たまたま近くだったので、母が運転するよと言って俺に付き合ってくれた。

面接先の駐車場に車を止め、車内に母をひとり残して面接をしてもらったのね。

部屋に通され、そこに出てきたのは社長と人事課長。

社長は、こんなこと言うと失礼だが、絵にかいたような悪人顔で、タバコをふかしながら俺の履歴書を見て言ったの。

「何この転職回数、あんたもう36だろ？
働いた経験が長いといったって、こんなの職歴無しも同然だろう」

「精神の病気だか何だか知らないけど、うちでそんなのを雇うわけない。又すぐ辞められたら無駄だし・・・用事は無い。
もう帰ってくれ。終わり終わり」



がっかりして車に戻ると、母は俺の様子がおかしかったのか面接のことには一切触れず、
「これから又、寒くなるんだって。
今、ラジオでそう言ってたよ。
じゃあ一緒にご飯食べて帰ろうか」って。

無言のまま近くのうどん屋に入って、カツ丼を食べた。
「受かると良いねー」って母が言うからさ、

俺は返答に困ってさ。

で、いろんな言い訳を考えたけど思い浮かばず「いや、実は、駄目だったんだ今日も」と正直に打ち明けた。



そしたら母は、

「又、次も車で送っていくよ。

さっき食べたカツ丼、あんまり美味しくなかったね」だってさ。



思い出すと、今頃になって泣けてきたよ。

情けねーなー。就職してーなー。

今まで何やってたんだろう、俺。

母さん、就職できたらさ、今日奢ってくれたお礼に今度は俺が何か奢るよ。
美味くないカツ丼じゃないもの食べような。

この歳になって言うのもなんだけど、母さん、いつまでも心配かけてごめんなさい。

なんでもお見通しの素晴らしいお母さん。その後、美味しいご飯をご馳走できたのでしょうか？

それにしてもひどい社長。



そんな会社に入らず、ラッキーだったと思います。めげないで下さいね。

「編集後記」

あまりにも長く続いた今夏の酷暑、心身共に完全にノックアウトされましたが、その後は、ことのほか、さわやかな秋の風が心地よく感じられます。

夏の名残りのお疲れは出ていませんか？

食欲・芸術・行楽・スポーツそして読書の秋ともいわれますが、皆さんはどうお過ごしになるのでしょうか？

何をするにも先ずは健康が1番です。

十分な睡眠をとり、こころと身体の声に耳を傾けながら、お元気で充実した秋を堪能してください。



今月号もお読みいただき有難うございました。

「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子